

日本共産党 日立市議団ニュース

No.14 2003年8月28日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501



小林真美子

(21)4919



大曾根勝正

(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

8・26 日本共産党演説会（水戸市民会館） 総選挙予定候補勢ぞろい

日本共産党茨城県委員会は26日、水戸市の市民会館大ホールで、穀田恵二国会対策委員長を迎えて演説会を開き、八百人が参加。今秋にも予想される総選挙の勝利をめざす熱気であふれました。

穀田氏は、小泉「自民・公明党」内閣が、医療改悪、年金切り下げなどで、国民に「痛み」を押し付けてきたことを告発。連立政権の10年が消費税、小選挙区制強行など、自民党政治の継承だったことを批判し、「自民党政治をどう変えるのかの中身が大事だ」とのべました。

その上で、平和、外交の問題で、従属国家・基地国家から本当の独立主権の国家へ 大企業優先からくらしを応援する政治への転換を求め、本当の改革の道筋を提起しながら、自民党と対決して現実政治を動かしてきた日本共産党の役割を紹介しました。

さらに穀田氏は、悪政を覆い隠すために公明党などが反共攻撃を強めていることにもふれ、「総選挙でも、反共攻撃を打ち破り、国民が主人公を貫く日本共産党を大きく」と呼びかけ、参加者は大きな拍手で応えました。

塩川鉄也衆院議員、森原公敏国際局次長、田谷たけお党県福祉対策委員長（衆院小選挙区茨城7区と重複）の各衆院北関東ブロック比例代表候補、大門実紀史参院議員（参院比例代表候補）が、総選挙での躍進をめざす決意をのべました。7人の衆院小選挙区候補もあいさつしました。（赤旗8/27付より）

日立市から参加した女性は、「多彩な候補者、お話しもわかりやすく楽しかった。5区の大内智子候補も、堂々としていて良かったと思う。くらしが良くなるように共産党にがんばって欲しい」と話していました。

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.icp-net.jp/ibahoku> です。

「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。

北部地区委員会のホームページで大内智子5区予定候補が訴えている動画をご覧ください。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

日立市・十王町合併の協議は今（４）

合併での将来像・基本目標を実現するために、行財政改革を着実に推進するという方針（素案）が出されています。４役や議員、職員の削減で人件費の「効率化」です。

議員については、法定数で試算すると１４人分約九千万円が削減可能としています。しかし、十王町の議員数分がそっくり削られる可能性があり、住民の声が届きにくくなる不安があります。その不安に対して、編入される十王町に地域審議員を置くことを検討していますが、それが一時的でしかないことはいうまでもありません。

職員については、類似団体での試算で２０人分約一億四千万円削減可能としています。しかし、日立市ではこれまでも、職員削減でパート化がすすめられており、技術分野での仕事の効率や安全の面で不安があります。

行財政改革では、保育所や学校給食センターなどの民間委託も出されています。民間委託は、本来自治体でおこなう福祉を放棄することになるのではないかと、日本共産党は反対しています。（つづく）